

# 読んでみよう 解いてみよう せん太のワークシート

学校の魅力をテーマに作った動画の出来栄を競う「YouTube甲子園」で、御津高（岡山市北区）が最優秀賞に輝きました。記事を読んで、質問に答えましょう。

## 学校の魅力テーマ YouTube 甲子園

# 御津高が最優秀

高校生が学校の魅力をテーマに作った動画の出来栄を競う「YouTube甲子園」で、御津高（岡山市北区御津金川）が最優秀賞に輝いた。校内でのインタビューを中心にしたNGシーンも交えて構成しており、「生徒や教員の素の良さを引き出し、見て楽しめる内容」と評価された。（平田亜沙美）



制作した動画を前に、最優秀賞の盾を手にして喜ぶ（右から）杉本さんと田中さん

YouTube甲子園は、新服大手の菅公学生服（同駅元町）型コロナウイルス禍による学校の子会社が、生徒が協力して取行事の相次ぐ中止を受け、学生が組む場になればと初めて開

## インタビュー中心 NGシーンも交え 生徒、教員の素引き出す

制作は、いずれも3年の杉本大河さん(18)、田中裕斗さん(18)、胡子侑佑さん(18)、浜田瑞喜さん(18)の4人が担当。構成から撮影、編集までをこなした。中心的役割を担った杉本さんは「生徒と先生の仲の良さが学校の魅力。等身大の様子が伝わるよう心掛けた」と話している。

応募作は、サイト名「スクールチューブ」で見ることが出来る。

同高の動画(約13分)は、生徒や教員ら約20人が質問に答えるスタイルで進行。学校の概要や部活動のほか、春に出現する桜のトンネルや秋の紅葉といった自然に恵まれた周辺環境、買い食いスポットなども紹介している。また、教員が「挑」を「桃」と間違えて大書したり、生徒が部活動の魅力を語ろうとして言葉を詰まらせたなどのNG場面もそのまま盛り込んだ。

催。昨年10月〜今年2月に「いまだからこそ伝えたいわが校の魅力」をテーマに募集し、14都府県の18校52チームの応募があった。動画投稿サイトのチャンネルのプロデューサーらが審査し、3月上旬に最優秀賞1組をはじめ入選計6組を決めた。

3月23日付、山陽新聞おかくらプラス

学校の魅力がよく伝わってるね



Q1 ★★☆☆

御津高の動画はどのような内容でしょうか。第1、3段落や見出しに注目して答えましょう。

Q2 ★★★★★

動画に、言葉を詰まらせた場面などのNGシーンを盛り込んだのはなぜでしょうか。第1、4段落や見出しが参考になります。

Q3 ★★☆☆

自分たちの学校を紹介する動画を作るとしたら何を撮ってみたいか、考えましょう。

★の数は問題の難易度を表しています。